

令和 2 年 6 月 29 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H02716

研究課題名(和文) コンゴ盆地における水陸ネットワークと社会生態環境の再編

研究課題名(英文) Restructuring of Land-water Networks and Socio-ecological Environment in the Congo Basin

研究代表者

木村 大治 (Kimura, Daiji)

京都大学・アフリカ地域研究資料センター・教授

研究者番号：40242573

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 24,100,000円

研究成果の概要(和文)：コンゴ盆地諸国においては、近年の内戦によって、水陸の流通システムが寸断されてきた。地域住民の手によるその再編過程を明らかにすることが、この研究の目的である。水上交通に関しては、アクション・リサーチ型のボートトリップをおこない、陸上交通については、大都市へ向かう「長距離徒歩交易」のルート进行调查した。また交易品(蒸留酒、干した芋虫など)の製造が森林環境にどのようなインパクトを与えているかを明らかにし、さらに、それらの製造・輸送を支えるローカル・アソシエーションの社会関係の分析をおこなった。この成果は、論文や研究発表を通じて公表し、さらに著書『コンゴ・森と河をつなぐ』の出版によって一般に公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

コンゴ民主共和国を中心とする地域は、1980年代まで多くの日本人研究者が調査をおこなってきたが、最近の内戦の影響でほとんど調査に入ることができなかった。本研究は、この地域の研究活動を再起動させる契機となる。また、世界的にほとんど知られてなかった流通過程の再編を明らかにすることで、この地域に関する援助のあり方を考える上で重要な資料を提供できた。さらに、地域住民による森林伐採の状況、NTFP(非木材性森林資源)の可能性等に関するデータは、生態人類学や地域研究の領域において貴重である。

研究成果の概要(英文)：In the Congo Basin countries, the land and water transportation system has been disrupted by the recent civil war. The purpose of this research is to clarify the process of reorganization of the transportation by local residents. For water transportation, we conducted an "action research" in the form of boat trip to Mbandaka city, and for land transportation, we investigated the "long-distance walking trade" to Kisangani. We also clarified how manufacturing trade products (distilled liquor, dried caterpillars, etc.) have impact on the forest environment. Further we analyzed the social relationships of local associations that support their manufacturing and transportation. As the results, we wrote academic papers and made presentations, and then published to the public a book "Congo: Connecting Forest and River".

研究分野：人類学，地域研究

キーワード：コンゴ盆地 内戦 交易ネットワーク 市場経済 熱帯林産品 長距離徒歩交易 ボート交易

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

豊かな自然資源に恵まれたコンゴ盆地諸国であるが、近年の内戦によって、水陸の流通システムは寸断されてきた。地域住民はどのようにその困難が解消しようと努力しているのか。そこに新たな秩序は生まれるのか。この問いが、この研究の原点である。一方、かつてこの地域は、多くの日本人研究者が調査をおこなってきたのだが、ここ 20 年間は、内戦の影響でほとんど調査に入ることができなかった。本研究は、この地域の研究活動を再起動させるという意義をもっている。

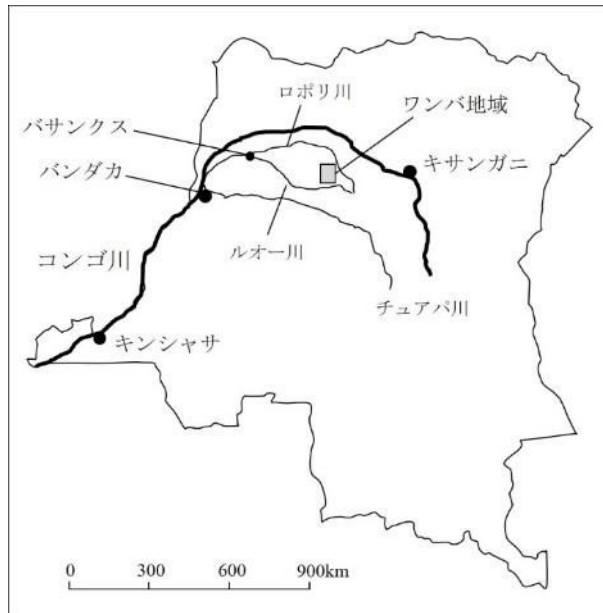


図 1 コンゴ民主共和国および調査地

2. 研究の目的

本研究の目的は以下の 3 点である。

1. コンゴ盆地における水上・陸上交易ネットワークの近年の変化を具体的に明らかにする。
2. その変化が、地域の生態環境とどのように相互作用しているかを分析する。
3. 以上のデータを踏まえて、地域経済を担うアクターたちの社会・文化的な特性を把握し、交易ネットワーク再興への道筋を探る。

3. 研究の方法

「研究の目的」の 1 については、水上交通に関しては、地域住民とともに、調査地ワンバから下流の大都市バンダカへと向かうアクション・リサーチ型のボートトリップをおこなった。陸上交通に関しては、東方の大都市キサングニ近辺の市場へ向かう「長距離徒歩交易」のルートを広域に聞き取り、また徒歩交易に同行してその実態を明らかにした(図 1)。2 については、主要な交易品(蒸留酒、干した芋虫など)の製造が森林環境にどのようなインパクトを与えているかを GPS およびドローンを用いた調査で明らかにした。また、交易品の製造過程についても調査をおこなった。3 については、地域に多く作られたローカル・アソシエーション内の社会関係の分析をおこなった。



写真 1 バンダカへの実験的ボートトリップ

4. 研究成果

3 と同様に、「研究の目的」に沿って述べる。

1 については、まず 2017 年に、研究分担者の松浦、研究協力者の山口、高村が、村人たちの代表者とともに州都バンダカまでの実験的ボート交易を敢行した(写真 1)。実施にあたってはさまざまな困難があったが、ボート交易の実態を明らかにすることができた。今後村人たちが自身の手で、持続的に利益を出しつつ交易をおこなっていくためには、若い人たちのリーダーシップを基に、住民たちの意識を改革していく必要があることが明らかになった。

また木村は、バイクによる広域調査をおこない、調査地周辺の人たちがどのようなルートで、キサングニ近郊までの長距離徒歩交易をおこなっているのかを明らかにした(図 2)。その結果、キサングニ西方の町ヤフィラにある大規模市場が人々を強い力で惹きつけており、地域住民は片道数百キロメートルの森の道を、1 週間以上かけて辿り、この市場出物の売り買いをしていることが明らかになった(写真 2)。さらに 2018 年に、長距離徒歩交易に同行し、4 日間にわたって森の道を歩き、その困難な実態を記録した。

2 については、まず、熱帯林中に散在する狩猟・漁撈キャンプの位置を、一村落のすべての世帯において確定し、森林の利用状況を明らかにした。その後、調査村落の人々の持つすべての焼畑を、村人の協力を得て GPS で計測し、森林伐採の状況のデータを取得した。



写真 2 長距離徒歩交易の様子

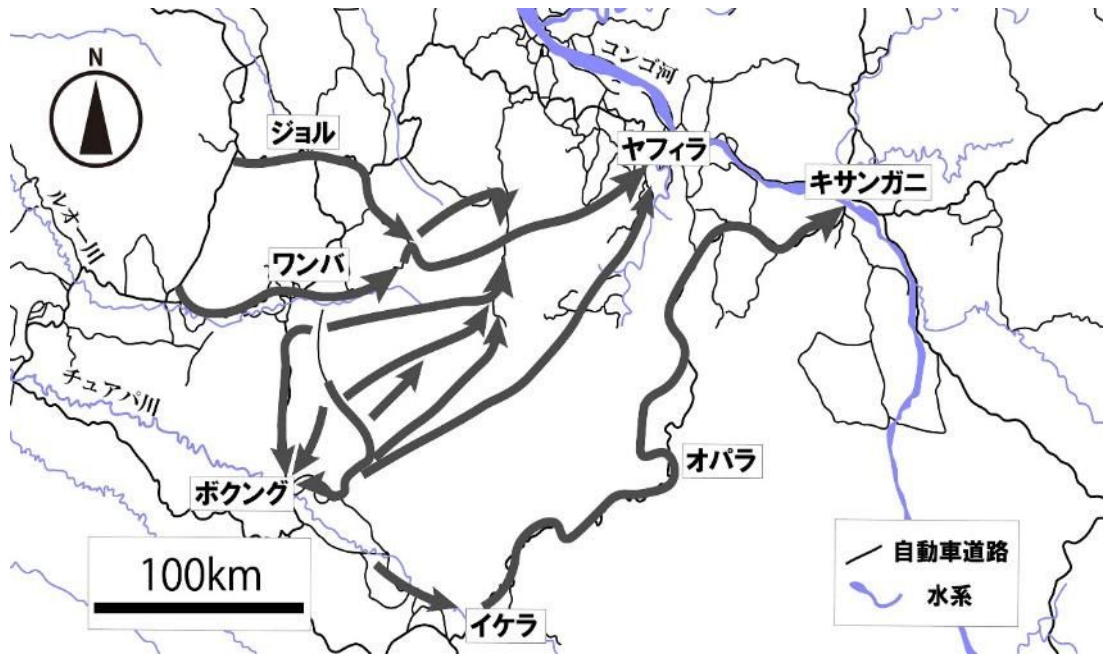


図2 長距離徒歩交易のルート

さらに 2019 年には、調査地にドローンを持ち込み、5 キロメートル四方の詳細な空中写真を撮影することに成功した。これらのデータは現在分析中であるが、熱帯林の生態人類学研究への貴重な貢献になると期待される。



写真3 イモムシ採集(上)と蒸留酒造り(下)


また村落内における女性の蒸留酒生産について調査をおこなった山口は、ここ 30 年で、蒸留酒の造り方に技術革新が起こっていることを発見した。すなわち、1980 年代までは、キャッサバデンプンの糖化には、発芽させたトウモロコシの芽に含まれる糖化酵素を用いていたと考えられるが、現在は、トウモロコシにカビをつけ、そのカビの糖化酵素を用いてより強い酒が製造されているのである。山口はまた、森林中の芋虫採集キャンプに滞在し、採集の労働効率の測定をおこなった。蒸留酒と芋虫(写真 3)は、長距離交易の主たる商品であり、これらの生産が生態環境と調和しておこなえるかどうかに、この地域の将来がかかっていると言っても過言ではない。山口は今後もこの両者に関する調査を継続する予定である。

3 に関しては、松浦が約 10 年前より、このちいきのローカル・アソシエーションの調査をおこなってきた。それを土台として、実験的ポートトリップの遂行時に、調査村落の人々がどのように協力し、あるいは反目するかについてのデータを得ることができた。そこでは、伝統的な血縁に基づく親族システムが足の引っ張り合いを生み、必ずしもその再編が容易におこなわれない状況も見えてきた。しかし、いったん都会に出て帰ってきた若い人々の間に、リーダーシップを取って状況を改革していこうとする機運が出てきていることが確認された。

以上の 4 年間にわたる調査の結果、地域の人たちが大変な困難にもかかわらず、自らの創意工夫によって新たな流通システムを再編しようとしていることが明らかになった。しかしこういった実態は、援助関係者には必ずしもよく見えておらず、地域研究者の情報発信がますます重要になるものと思われる。これらの成果は、この後に示す論文や研究発表を通じて公表した。また、国立キサンガニ大学の研究者と交流を持ち、2019 年 9 月には同大学においてセミナーを開催した(写真 4)。今後もこういった形で、現地の研究者たちと交流を深めていきたいと考えている。さらに研究代表者、研究分担者らが編集した著書『コンゴ・森と河をつなぐ 人類学者と地域住民がめざす開発と保全の両立』の出版によって—

般の人々に公開することができた。

コンゴ盆地周辺諸国に関して現在センセーショナルに報道されているのは、内戦、エボラ出血熱といったネガティブなイメージばかりであるが、自ら状況を変えていこうとする地域の人々の姿を、本研究によって伝えていくことができれば幸いである。

 **UNIVERSITE DE KISANGANI**
FACULTE DES SCIENCES SOCIALES,
ADMINISTRATIVES ET POLITIQUES

CONFERENCE - DEBAT

Le Doyen de la Faculté des Sciences Sociales, Administratives et Politiques invite cordialement l'Intelligentia de l'UNIKIS et des autres établissements de l'ESU présente à Kisangani, à assister à la conférence-débat.

Thème : **Recherches sur le site de Djolu dans la Province de la Tshuapa**

Orateurs : - Pr Dr. Daiji KIMURA
- MATSUURA Naoki, Ph-D
- Santos
Tous chercheurs anthropologues japonais

✓ Jour et date : Mardi, le 17 septembre 2019
✓ Lieu : Amphithéâtre de l'UNIKIS
✓ Heure : 14 heures locales

Fait à **Kisangani**, le 06 août 2019

 **LE DOYEN DE LA FACULTE,**
Frédéric LOKANGA OTIKEKE
Professeur Ordinaire

写真 4 キサンガニ大学におけるセミナーの
ポスター

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計19件（うち査読付論文 12件 / うち国際共著 5件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 Ichikawa, M.	4. 巻 なし
2. 論文標題 Hunting and gathering as techniques	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Encyclopedia of Anthropology	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Naoki Matsuura	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Community-based ecotourism in Gabon, central Africa	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 global-e (UC Santa Barbara)	6. 最初と最後の頁 web掲載
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Ngansop, T. M., Sonwa J. D., Fongnzossie F. E., Biye Elvire H., Forbi P. F., Oishi T., Nkogmeneck, B. A.	4. 巻 なし
2. 論文標題 Identification of main Non-Timber Forest Products and related stakeholders in its value chain in the Gribe village of southeastern Cameroon	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ASC-TUFS Working Papers 2018: Development, Migration, and Resources in Africa.	6. 最初と最後の頁 181-191
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 末原達郎	4. 巻 130
2. 論文標題 アフリカの小さな村から食と命を考える	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ひかりのかたち	6. 最初と最後の頁 115-141
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuo Ichikawa , Shiho Hattori, and Hirokazu Yasuoka	4. 巻 論文集
2. 論文標題 Bushmeat Crisis, Forestry Reforms and Contemporary Hunting Among Central African Forest Hunters	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hunter-Gatherers in a Changing World	6. 最初と最後の頁 59-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Edmond Dounias & Mitsuo Ichikawa	4. 巻 14-3
2. 論文標題 Seasonal Bushmeat Hunger in the Congo Basin	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 EcoHealth	6. 最初と最後の頁 575-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Towa Olivier William Kamgaing, Kadiri Serge Bobo, Daniel Djekda, Keumbeng Blondel Vasco Azobou, Bobo Rene Hamadjida, Moaga Yannick Balangounde, Kamdem Joel Simo, and Hirokazu Yasuoka	4. 巻 Web掲載
2. 論文標題 Population density estimates of forest duikers (<i>Philantomba monticola</i> & <i>Cephalophus</i> spp.) differ greatly between survey methods	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 African Journal of Ecology	6. 最初と最後の頁 Web掲載
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aje.12518	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 松浦直毅・安藤智恵子・新谷雅徳・竹ノ下祐二	4. 巻 92
2. 論文標題 科学研究プロジェクトと地域社会を架橋するエコツーリズム ガボン、ムカラバ・ドウドゥ国立公園における取り組み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 109-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松浦直毅	4. 巻 論文集
2. 論文標題 困難に直面する森の民 アフリカ熱帯林に住む狩猟採集民の人道危機	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地域研究からみた人道支援 - アフリカ遊牧民の現場から問い直す (湖中真哉・太田至・孫暁剛編)	6. 最初と最後の頁 233-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OISHI Takanori	4. 巻 Proceedings
2. 論文標題 Sustaining forest livelihoods in an era of climate change: Dialogue beyond 'participation' and 'community' arguments	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of International Symposium : Frontiers of African Studies	6. 最初と最後の頁 83-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 論文集
2. 論文標題 アフリカにおける土地政策の新展開と農村変容	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代アフリカの土地と権力 (武内進一編)	6. 最初と最後の頁 3-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 論文集
2. 論文標題 土地政策と農村変容 ルワンダ、ブルンジ、コンゴ民主共和国西部	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代アフリカの土地と権力 (武内進一編)	6. 最初と最後の頁 259-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 論文集
2. 論文標題 近年のアフリカにおける土地改革と農村変容をどうとらえるか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代アフリカの土地と権力 (武内進一編)	6. 最初と最後の頁 293-310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村大治	4. 巻 -
2. 論文標題 コンゴ民主共和国における長距離徒歩交易	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『シノドス』(Webマガジン) http://synodos.jp/international/19346	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fa, J.E., J. Olivero, M.A. Farfan, J. Lewis, H. Yasuoka, A. Noss, S. Hattori, M. Hirai, T.O.W. Kangaing, G. Carpaneto, F. Germi, A.L. Marquez, J. Duarte, R. Duda, S. Gallois, M. Riddell, R. Nasi	4. 巻 11(9)
2. 論文標題 Differences between Pygmy and Non-Pygmy Hunting in Congo Basin Forests	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS ONE (Web版)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0161703	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ichikawa, M., S. Hattori, H. Yasuoka	4. 巻 -
2. 論文標題 Bushmeat Crisis, Forestry Reforms and Contemporary Hunting Among Central African Forest Hunters.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Hunter-Gatherers in a Changing World	6. 最初と最後の頁 59-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武内進一	4. 巻 39(4)
2. 論文標題 アフリカの土地法改革と大規模土地取引	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際農林業協力	6. 最初と最後の頁 2-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oishi, T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Ethnoecology and ethnomedicinal use of fish among the Bakwele of southeastern Cameroon	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Revue d'ethnoecologie (Web版)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dounias E, T. Oishi	4. 巻 10
2. 論文標題 Inland traditional capture fisheries in the Congo Basin: Introduction	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Revue d'ethnoecologie (Web版)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計32件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 17件)

1. 発表者名 Hirai, M. and M. Ichikawa
2. 発表標題 Social influences of commercialization of non-timber forest products: The case of Irvingia nuts in SE Cameroon
3. 学会等名 12th International conference of Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirai, M. and M. Ichikawa
2. 発表標題 Social problems in the commercialization of non-timber forest products
3. 学会等名 16th International Congress of Ethnobiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naoki Matsuura, Ryota Yamaguchi, Shingo Takamura
2. 発表標題 Local associations, economic development, and river trade in Thuapa Province, DRC
3. 学会等名 CRN (Congo Research Networks) Conference 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松浦直毅・山口亮太・高村伸吾
2. 発表標題 保全と開発の統合に向けた住民組織のエンパワーメント コンゴ民主共和国における水上輸送支援プロジェクトの実践
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山口亮太・松浦直毅
2. 発表標題 熱帯森林資源の商品化と流通 コンゴ民主共和国における水上輸送支援プロジェクトの実践
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naoki Matsuura
2. 発表標題 Flexible adaptation or forced inclusion? Relationships with outside actors of central African hunter-gatherers
3. 学会等名 12th International Conference on Hunting and Gatherer Societies (CHAGS12) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山口亮太・松浦直毅
2. 発表標題 水運復興に向けた住民組織の取り組みと課題 - コンゴ民主共和国における水上輸
3. 学会等名 生態人類学会第24回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Daiji Kimura
2. 発表標題 Changes in distribution systems and subsistence activities among the Bongando in Tshuapa Province, DR Congo
3. 学会等名 CRN (Congo Research Networks) Conference 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takanori Oishi
2. 発表標題 How can local stakeholders make the room for negotiation?: Addressing the paradox of 'participation' and 'community' in forest management policies in southeastern Cameroon.
3. 学会等名 The first IUFRO (International Union of Forest Research Organizations) social sciences conference on "African forest-related policies and politics" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takanori Oishi
2. 発表標題 Impact of trade in forest products during the colonial period upon forests and the local community: An attempt to integrate the historical ecology of an African tropical forest with global history.
3. 学会等名 UP-TUFS seminar on Resource Management and Political Power in Rural Africa, University of Pretoria, South Africa (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大石高典、飯塚宜子
2. 発表標題 カメルーンのパカ・ビグミーにおける在来知識と学校教育 ローカルNGOとの対話から
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 武内進一
2. 発表標題 1990年代以降の土地法改革はアフリカに何をもたらしたか
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村大治, 松浦直毅
2. 発表標題 趣旨説明, ワンバ地域の経時的変化 (フォーラム: コンゴ民主共和国における紛争後の農村変容 1)
3. 学会等名 第54回日本アフリカ学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daiji Kimura
2. 発表標題 Changes in distribution systems and subsistence activities among the Bongando in Tshuapa Province, DR Congo
3. 学会等名 Congolese Studies: Past, Present, Future (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ichikawa, Mitsuo
2. 発表標題 Elephant Hunting by the Mbuti Hunter-gatherers in the Eastern Congo Basin
3. 学会等名 VIIth International Conference on Mammoths and their Relatives (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T. O. William Kangaing, 青木俊汰郎, 中島啓裕, 安岡宏和
2. 発表標題 カメルーン東南部の熱帯雨林における複数の方法によるダイカー類の密度推定
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirokazu Yasuoka, Towa OW Kangaing & Nzeun's CB Dzefack
2. 発表標題 Comparison between hunters' knowledge and transect surveys of game species in an African Rainforest
3. 学会等名 54th Annual Meeting of the Association for Tropical Biology and Conservation (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名	Towa Olivier William Kangaing, Kadiri Serge Bobo, Daniel Djekda, Keumbeng Blondel Vasco Azobou, Bobo Rene Hamadjida, Moaga Yannick Balangounde, Kamdem Joel Simo & Hirokazu Yasuoka
2. 発表標題	Population density estimates of forest duikers differ greatly between survey methods, Cameroon
3. 学会等名	54th Annual Meeting of the Association for Tropical Biology and Conservation (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Hirokazu YASUOKA
2. 発表標題	Forest resources management in collaboration between ecologists and local people, southeastern Cameroon
3. 学会等名	The Challenge of Tropical Forest Biodiversity Conservation and Sustainable Development at Landscape to Regional Levels (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	松浦直毅・山口亮太・高村伸吾
2. 発表標題	森と河をつなぐ - コンゴ民主共和国における水上輸送プロジェクトを通じた研究と支
3. 学会等名	生態人類学会第23回研究大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	松浦直毅
2. 発表標題	長期研究プロジェクトにおける / に関する / を通じた研究と実践 アフリカの類人猿調査地における人類学的フィールドワーク
3. 学会等名	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・フィールドサイエンスコロキウム第2回ワークショップ (招待講演)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 松浦直毅・木村大治・岡本妃花理・村山美穂
2. 発表標題 新規家畜の導入が住民生活にもたらす効果 - ガーナにおけるグラスカッター飼育プロジェクトより
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 OISHI Takanori
2. 発表標題 Does a “Cultural Landscape” Exist in the Forest Landscapes of the Congo Basin?: From the case study in the Lower Reaches of the Dja River in Southeastern Cameroon
3. 学会等名 International Symposium by the Special Research Project of Minpaku (National Museum of Ethnology): Human Relationships with Animals and Plants: Perspectives of Historical Ecology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 OISHI Takanori
2. 発表標題 Sustaining forest livelihoods in an era of climate change: Dialogue beyond “participation” and “community” arguments
3. 学会等名 Frontiers of African Studies: The “Kick-off” Symposium of African Studies Center-TUFS (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大石高典
2. 発表標題 熱帯アフリカ都市住民の動物タンパク源消費嗜好性 コンゴ共和国ブラザビルの事例
3. 学会等名 日本熱帯生態学会第27回年次大会講演
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武内進一
2. 発表標題 人口希薄地帯における土地囲い込み コンゴ民主共和国西部の事例
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Congo War, Long-Distance Walking Trade and Bushmeat Hunting
3. 学会等名 Institutskolloquium
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kimura, D.
2. 発表標題 Features of Subsistence Activities in the Upper West Region and Grasscutter Rearing
3. 学会等名 Ghana grasscutter project workshop
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Oishi, T.
2. 発表標題 Elephant hunting and YouTube: Role of new media in visualization of conflict between Conservation and Indigenous movements in Cameroonian tropical rainforest
3. 学会等名 The 6th HK (Humanities Korea) International Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Oishi, T.
2. 発表標題 Symbolism in Medicinal Use of Fish among the Bakwile of Southeastern Cameroon
3. 学会等名 The 15th Congress of the International Society of Ethnobiology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 平井將公, 市川光雄
2. 発表標題 非木材森林産物の持続的利用
3. 学会等名 第53回日本アフリカ学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hirai, M., M. Ichikawa
2. 発表標題 Establishing sustainable use of NTFP in southern Cameroon: Integrated Landscape approach to ecological potentials, livelihood and social system
3. 学会等名 The 15th Congress of the International Society of Ethnobiology (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 大石高典、萩原幹子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 304
3. 書名 「市場のアフリカ漁民たち コンゴ共和国ブラザビル市のローカル・マーケットの観察から」今井一郎編 『アフリカ漁民文化論 水域環境保全の視座』	

1. 著者名 松浦直毅, 山口亮太, 高村伸吾, 木村大治 (編著)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 20
3. 書名 コンゴ・森と河をつなぐ 人類学者と地域住民がめざす開発と保全の両立	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>コンゴ・水上輸送プロジェクト (特例非営利活動法人 アフリック・アフリカ) https://afric-africa.org/category/inafrica/waiwai/</p> <p>Cameroon Field Station http://jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/CameroonFS/wiki.cgi</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	末原 達郎 (Suehara Tatsuro) (00179102)	龍谷大学・農学部・教授 (34316)	
研究分担者	安岡 宏和 (Yasuoka Hirokazu) (20449292)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授 (14301)	
研究分担者	小松 かおり (Komatsu Kaori) (30334949)	北海学園大学・人文学部・教授 (30107)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大石 高典 (Oishi Takanori) (30528724)	東京外国語大学・現代アフリカ地域研究センター・准教授 (12603)	
研究分担者	市川 光雄 (Ichikawa Mitsuo) (50115789)	京都大学・アフリカ地域研究資料センター・名誉教授 (14301)	
研究分担者	松浦 直毅 (Matsuura Naoki) (60527894)	静岡県立大学・国際関係学部・助教 (23803)	
連携研究者	武内 進一 (Takeuchi Shinichi) (60450459)	東京外国語大学・現代アフリカ研究センター・教授 (12603)	